

南清掃工場の放射性物質濃度等測定結果（令和5年度）

■溶融スラグの再利用に係る放射性物質測定結果

「溶融スラグ」とは、おおむね1,200度以上の高温で灰を溶融し、冷却・固化してできるガラス質の物質をいいます。南清掃工場で生成される溶融スラグについては、市が発注する公共工事等に有効利用されており、その品質管理の中で測定を実施しています（担当は南清掃工場）。

（単位：ベクレル／キログラム）

測定品目	生産月	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム合計
溶融スラグ	R5. 5	不検出(1.9 未満)	不検出(2.3 未満)	不検出(2.7 未満)	—

※ 環境省の定める「廃棄物を安全に再利用できる基準」は、100ベクレル／キログラムです。

※ 表中の「不検出」のかっこ内の数値は、検査において検出できる下限値（検出限界値）です。

※ 検査機関：東京テクニカル・サービス株式会社

■敷地周辺等における放射線量測定結果

（単位：マイクロシーベルト／時間）

測定日	天候	東	西	南	北	灰搬出場
R5.5.22	晴れ	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05

※ 市の暫定基準値は、0.23マイクロシーベルト／時間です。

※ 測定機器は、NaIシンチレーション式サーベイメータ（富士電機 NHC7）を使用しました。

※ 地表から1mの高さで測定を実施しました。

※ 測定値は、1回10秒ごとに10回計測した平均値を掲載しています。